

失敗しないブーツ選び2

同じ長さなら硬いものほど曲げにくい。同じ材質でも長いものなら曲げやすいが短いものは曲げにくい。

長方形のプラスチック下敷きを思い浮かべてください。短い辺を曲げるより長い辺を曲げる方が簡単です。現在、市販されていないので比較するのは意味ないかもしれませんがT4とT3のカフはほとんど同じですがほんの少しT3のタンの材質が硬いのでT4の方が曲げやすいです。また、T3とT2Rはタンの硬さは殆んど変わりませんが脚力のある人ならT2Rの方が深いので全体的になめらかに曲げやすいです。写真は全て同じサイズです。

言い方を変えれば全く同じブーツなら大きいサイズの方が曲げやすいとも言えます。また、スキーマーからすれば筋力や体重のある人や脛の長い欧米の方が曲げやすいです。



ウォークモードとスキーモード

足の前後入れ替えというアルペンにはない独特の動きのあるテレマークでは前足の足首角度と後ろ足の角度が入れ替えの段階で変化していきます。それなのに足首の前傾角度が固定されてしまうブーツはナンセンスです。ですから塾講習の中ではロック機能のあるブーツは解除してフリーにするように指導しています。(写真のT4とT2Rは個人用で不要なロック用のパーツをはずしてあります)

整理 足首の自由度の高いブーツを奨める理由

歩きや登りで足首が硬いと歩行しづらしばかりか滑りの中でも足首が曲げにくいと不具合が生じます。後ろ足に体重を乗せようとしても足首が曲がらず結果つま先の蛇腹ばかりが曲がってつま先立ったポジションになってしまいます。すると体軸から外れた後方に後ろ足が開き過ぎてしまい両足均等に荷重することが困難になります。すなわちいつまでたっても求める理想的なテレマークを習得できません。また、そのようなポジションで滑り続けることは疲労も増します。

これからテレマークを始める方はまずはさまざまな動きの中で自分の骨格にあった正しいポジションをつかむことが上達のいとぐちです。ですから一般的には脛の短い日本人は足首の曲げの自由度が高いブーツを選ぶべきでしょう。また、経験者でも硬めのブーツで行き詰っている方もいらっしゃると思います。原点回帰で軽快に山へ出かけるという視点で浅くて軽くて曲げやすいブーツを検討されたいかがでしょうか？値段もリーズナブルです。

体重や脚力のない日本人女性ならイタリアのジュニアブーツも選択肢として大いにあります。

一般的には足の幅広の方はガ尔蒙ト系、スリムな方はスカルバ系を奨めています但实际上履いてみてフィット感を確認してください。また、お店で履くのと実際に滑るのとでは違いが出ることもあるので試乗会などで履くチャンスがあればベストです。

G-REX

G-レックス

斬新なデザインを採用した次世代のキッズ用ブーツ。簡単脱着のプラスチックバックルを装備し、軽量性・保温性・サポート性に優れているキッズに優しいフリーヒールブーツです。つま先立ちになりにくいソフトフレックスや記憶を採用しています。

¥37,800 (本体 ¥36,000)

1100329

サイズ: 19.0 ~ 24.5cm (0.5cm刻み)

1100330

サイズ: 25.0cm

重量: 1,090g (23.5cm)

シェル: Pebax

インナー: Kid's Pad-Lock

カラー: ブラック/シルバー/レッド



◎ サイズ表

TJ

[SC24140] ¥27,300

ジュニア用のテレマークブーツ。シェル材質には極物由来のペバックスPnewを採用。2箇所のバックルで子供の足に合わせた細かいフィッティングが可能です。

・両サイドにねじれを抑えるトーションフレームを搭載
・スキー/ウォーク切替レバー

シェル/カフ/タンク/ペバックスPnew

材質 インナー=インスタントフィットTJ

ソール=プリント・スカルバ/ビブラム

2バックル

機能 スキー/ウォーク切替レバー(前傾角16°)

重量 2,400g(25cm、1ペア)

サイズ 23.0~25.0cm(1cm刻み)